

傾城水滸傳第六編

伊の世のすゝこ  
おん  
あはれん



馬琴著  
兩卷

新刊  
巳丑

へ13  
3019  
5



曲亭馬琴著

傾城水滸

傳第六編

歌川國安画  
上帙卷之上

江戸通油町書肆

特  
3019  
5

水滸傳第六編序

每編分上下二冊合本冊

下冊三冊合本冊

邦の衰世兇賊ふあふ心所尤讀よ忍ぶるは且亦武松が鷲鴞樓に  
張都監蔣門神ホと鹿金まるが如くその殺戮數十人僕隸婢妾と  
りとのも一人とく免れむ只一人を殺し火を放て愉快なるものその情態を  
寫せるものれを義勇とてかみ相威 天朝の人の氣質の萬邦の  
捷れるといへばく之就中曾我胞兄弟が富士の狩屋まはれ入る父乃  
雙言を敷るが若く當時宿真の勇臣ホの防戦するの不當とてまを研るこ  
まてく十名然れども僕隸婦女子と屠殺し刃を汚しんるを欲せざるの  
故小時致の五郎九は生拘られり是の智勇の足らざるあむむ甚五郎

壹

九が少女子の打扮をよ欺死ふよとこの時備武松をく時致は代ら  
まの五郎九も亦免るこまはる下又水滸傳の武松が蜈蚣嶺で過る  
と花道士師弟を殺せしむあの新得る戒刀を擧るを祭らんと欲まは  
のいも彼師とそ徒弟の悪人を知る何ぞ殺まての速るをむか  
筑紫の御曹司とてこの五千人軍萬馬の窮死の中不在とて當の  
敵をわしむるはさるべき言れと射まて勇まの本意とて所當かくの如くま  
今その忠孝義勇と擧る水滸二百八の草賊ホは比競をたあ  
花も夜光燕石相以て非なるこの下を述べることを抑余が戲れは昔  
加乎水滸傳の脚色と撮合くゆるゆる彼が理義と違ふ所を綴り見  
れを取て用意豈帝皇のまを毎思の意味を具眼に入らむとて

文政十二年己丑春青吉日新版 曲亭馬琴識



みちのく乃午<sup>とふ</sup>府の  
 第<sup>まが</sup>の<sup>み</sup>も<sup>あ</sup>二<sup>ふ</sup>ぬ<sup>ふ</sup>七<sup>ふ</sup>布<sup>ふ</sup>  
 筆<sup>せ</sup>賣<sup>い</sup>の<sup>さ</sup>め<sup>さ</sup>を<sup>ん</sup>ひ<sup>と</sup>と<sup>き</sup>

忠成堂

菅原の  
 山陰  
 菅原



長<sup>あ</sup>尻<sup>ま</sup>の<sup>あ</sup>居<sup>ま</sup>酒<sup>ま</sup>を  
 客<sup>き</sup>乃<sup>の</sup>醉<sup>す</sup>の<sup>ゆ</sup>い<sup>も</sup>も  
 ま<sup>ま</sup>び<sup>れ</sup>の<sup>ま</sup>る<sup>し</sup>め  
 海<sup>う</sup>ら<sup>び</sup>り

結<sup>む</sup>縷<sup>す</sup>

天狗損二郎

天狗損





掘返おのり  
 地おかし  
 今名  
 ねる  
 小田高

長庚星黄昏  
 七世編

獨火星夕映  
 七世編



洗垢離  
 裸  
 迂角力  
 ひととせのり  
 いたる珠数

能莫院  
 波女刺院

便之入旦風



下はだまてさへさへからさへてあぢらひひつ  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の



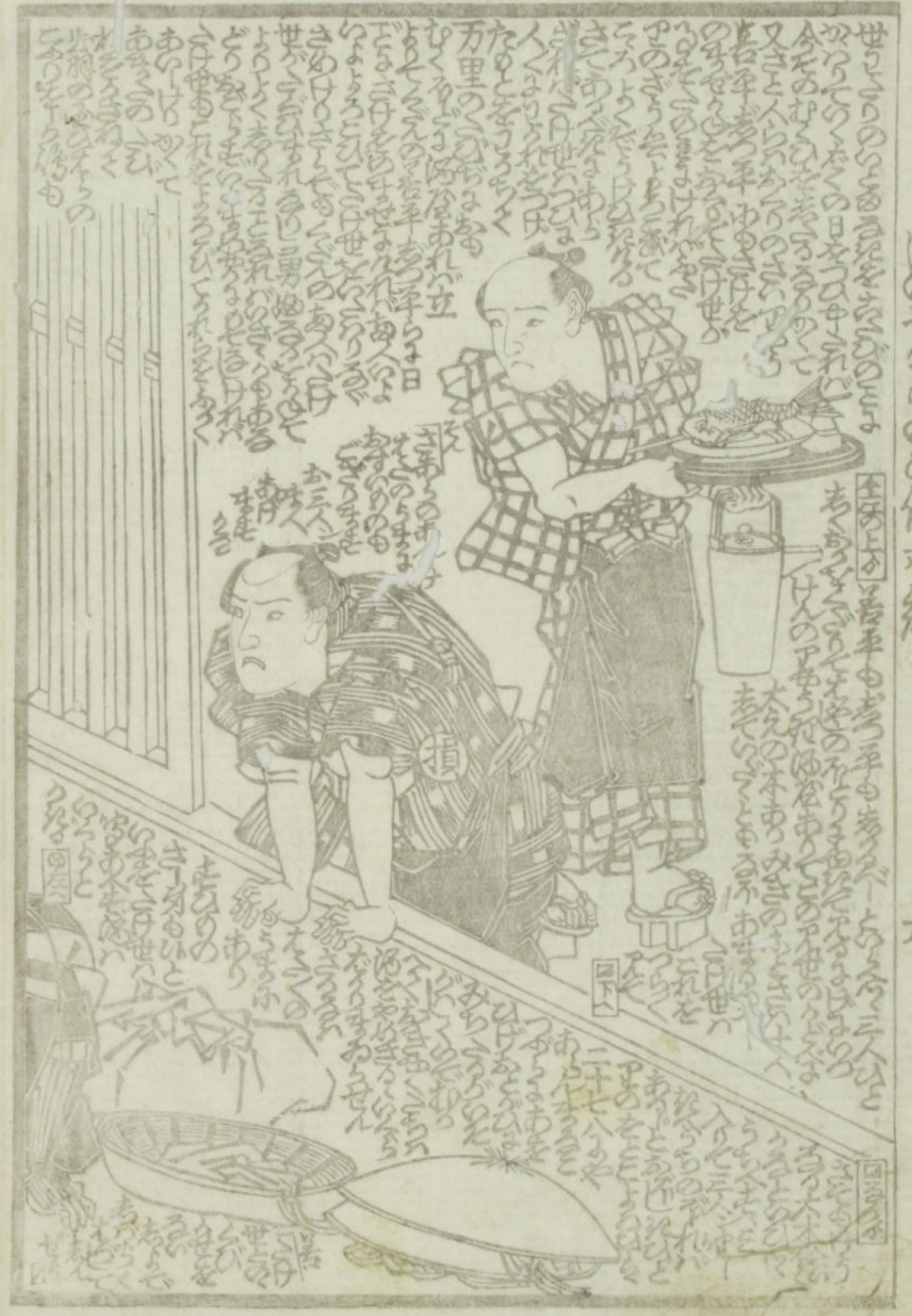
右の上は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...

ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の  
ついでに世のついでに世のついでに世のついでに世の



左の上は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...  
仇は... 仇は... 仇は... 仇は... 仇は...





Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration. The text is written in a cursive style and includes various characters and symbols.



Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration. The text is written in a cursive style and includes various characters and symbols.



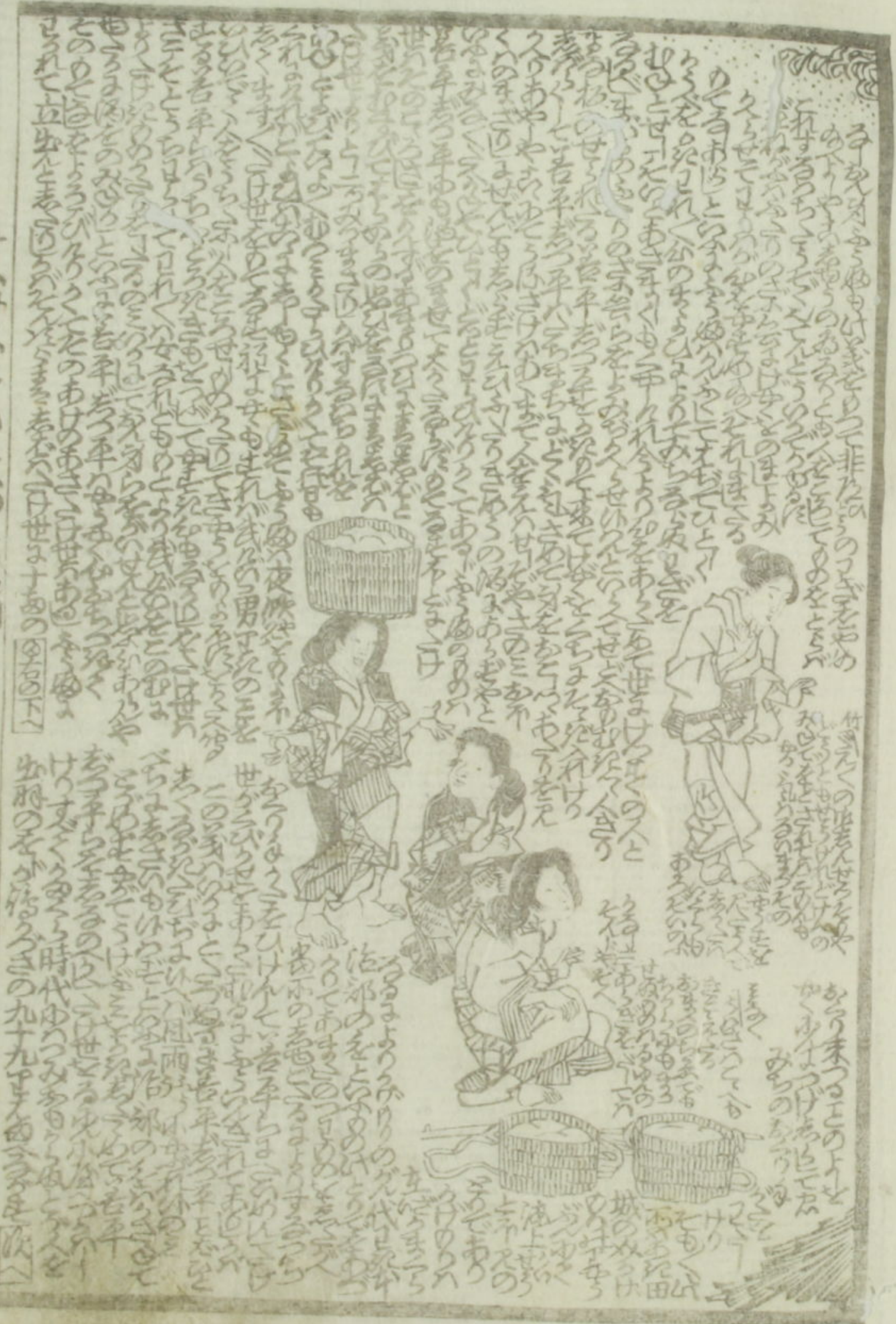
Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a play script or commentary, surrounding the illustration on the right page.



Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a play script or commentary, surrounding the illustration on the left page.



ナカカヒにハハのハナ



ナカノカミヤノ...

出陣の...

傾城水滸傳

初編五編迄先達者費金之曲亭馬琴作  
六編七編八編子集秋香出之川國安画

繪本漢楚軍談

初編五編迄通俗漢楚軍談を原方に  
共二十冊出来傳之るおもい後き軍書あり

當世役者水滸傳

歌川國貞画  
唐道名人の著者元は豪華  
水滸傳に於けるておもい  
ろくはくろくする画本あり

稗史水滸傳

初編六編迄  
共十二冊賣出之  
歌川東京山譯  
國芳画

水滸傳豪傑雙六歌川國芳画

奉書一枚つき彩色すり  
画面に落く真のや  
おもい其の以六法あり

水滸傳劇場雛形

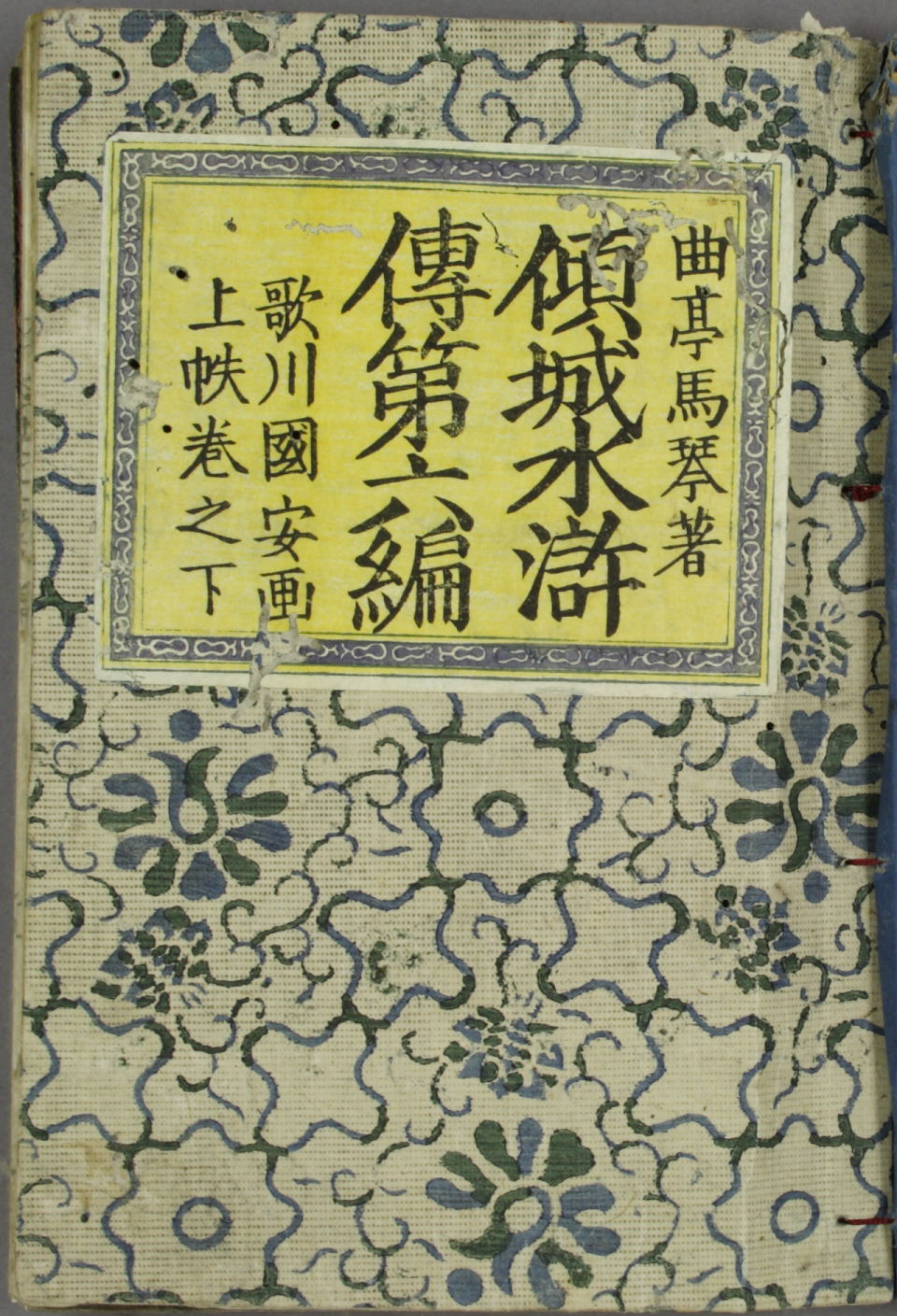
初編鶴屋南北作  
四冊歌川國貞画

忠臣水滸傳

繪入十冊  
忠臣の義士お瓜豪傑  
水滸傳ふるそと後き  
おもい乃名文乃後本あり



曲亭馬琴著  
傾城水滸  
傳第一編  
歌川國安画  
上帙卷之下



上帙卷之下



曲亭馬琴著

文政己丑春新編

# 傾城水滸傳第壹編

歌川國安画

江戸通右衛門書林

門建場の酒帘小京登る客を俟十字坡る蒙汁刺り  
 毒悪変りく薬とある花圃倉其夫婦益母者三友  
 磯小配所の松影小流されまつる人を御食を蝙蝠村る造酒店  
 怨敵去く恥戎雪は二藍紫糸苑親子が利市萬倍

三



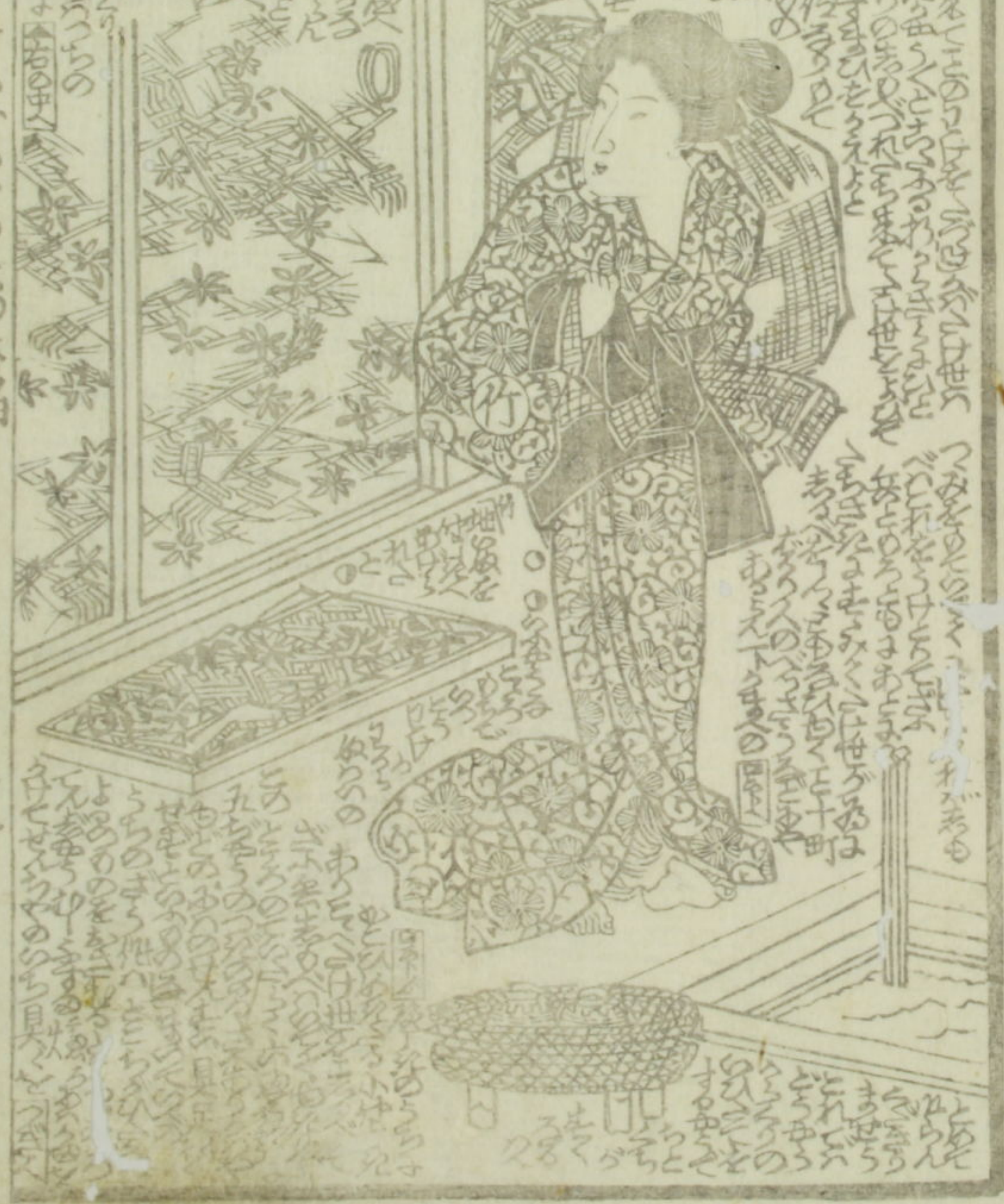
大坂の御門

一



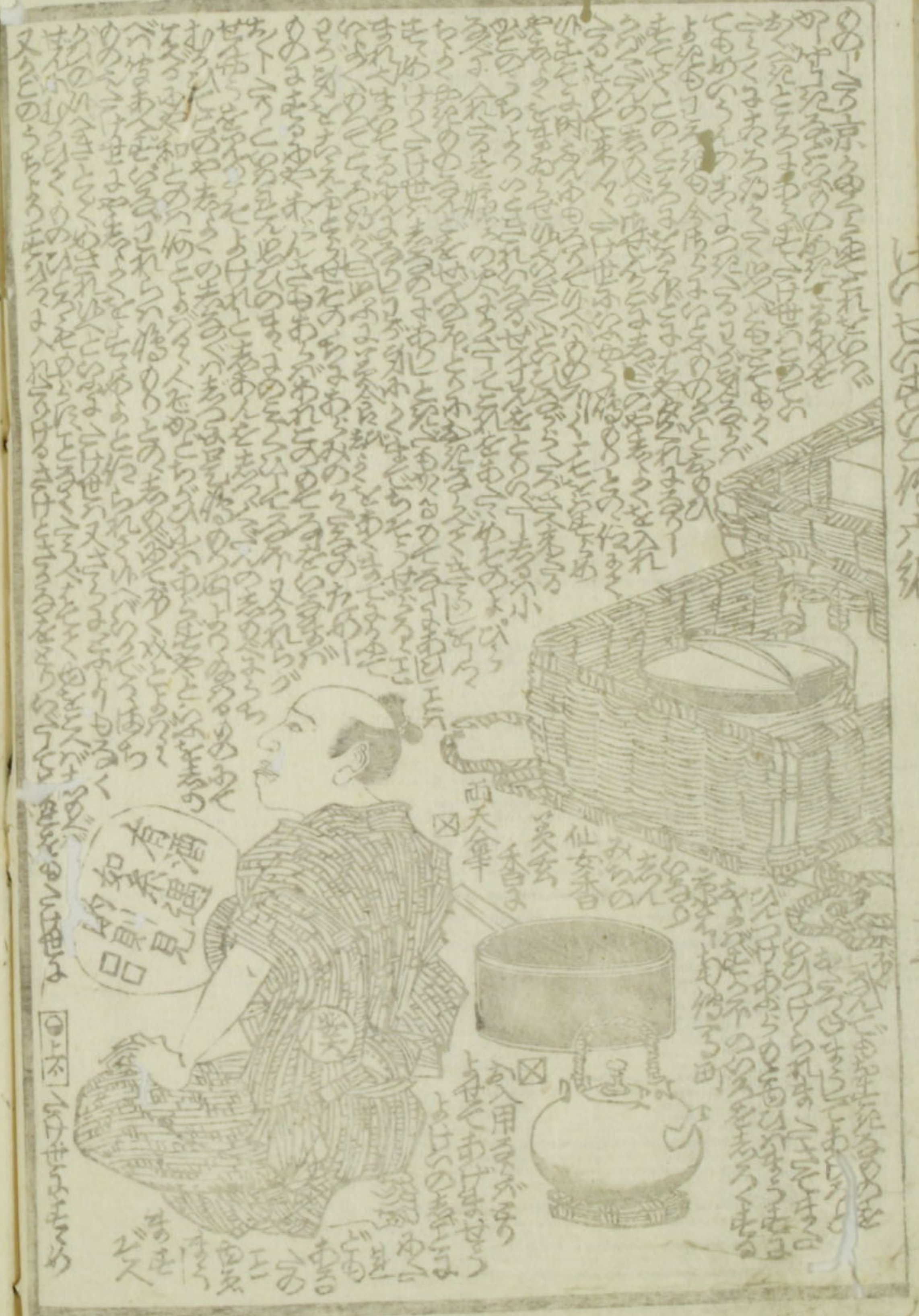


Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration on the left page.



Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration on the right page.











茶の湯の作法



茶の湯の作法



Handwritten text on the left margin of the first page.

Handwritten text on the right margin of the second page.

十七



Vertical handwritten text on the right edge of the left page.

Vertical handwritten text on the right edge of the right page.





Handwritten text on the right edge of the page, likely a title or a chapter heading, written vertically in Japanese characters.

家傳神女湯... 精削衣奇... 能胆黒九子... 神田明神下本家滝澤氏... 弘明寺板門板四方の向に免氏氏... 取所西國横山町三日大坂宿半巻



馬琴作 浄書谷金川

御免江戸曆開板所 毎年十月下旬... 載陽帖全一冊 南山禪師書 四季和文章

新撰 日本名所之繪 唐紙摺一枚 蕙齋缺形絵具筆

新撰 女古状揃園生竹 大紙林 西品出来 高井蘭山編撰

新撰 還塊紙料 柳亭種彦隨筆 古画入二冊

田喜菴編輯 芳の... 幻住菴記引證

隨筆 女同放言 初編二編共三冊... 右才三編三冊... 初編二編よりの...

芳艸集 全冊 開元... 芳艸集 全冊 開元... 芳艸集 全冊 開元...

遊言画手本 一名鳥羽繪早まゐひ出来

懷中早割大全 小本あり... 懷中早割大全 小本あり...

新形漆彩目 前編出来... 新形漆彩目 前編出来...

似顔早替古 後編 全冊五渡亭國貞画

役者似顔早替古 後編 全冊五渡亭國貞画

後居似顔早替古 後編 全冊五渡亭國貞画

八文吉自笑評 全冊 後編 全冊五渡亭國貞画

三箇之津 後編 全冊五渡亭國貞画

藝品定 後編 全冊五渡亭國貞画

依紫田舎源氏 全八冊 柳中夜彦作

喜如哀樂堪忍裏 全冊 蘭 取丹室町三目河内屋長兵衛

油屋新形漆彩目 全冊 傳靈應丹 本家肥前平山本氏精製

鎌倉山百人一首 全三冊 役者影の富士 京山作 依人 全冊

立春 廓薰名寄生梅川 全冊 偶田川兩岸一覽 北齊華 同 全冊

天竺の方便安語 五 江戶名所東鑑 蕙齊華 同 全冊

唐室の備言謀計 三國伏狐殺生石吉冊 江戶名所物見丘 清長華 同 全冊

美艷山女香 四十八冊 右五冊共拾上品ふくむ奇案に仕立

黒油美玄香 四十八冊 鶴屋喜右衛門版



通油町 鶴屋喜右衛門版

傾城水滸傳



馬琴著  
國安画

仙鶴堂梓

第六編

下帙  
新刊

曲亭馬琴著

傾城水滸

傳第六編

歌川國安画  
下帙卷之上

尾瀬油町書

曲亭馬琴著

# 似蝶乃 游伴身 六海三

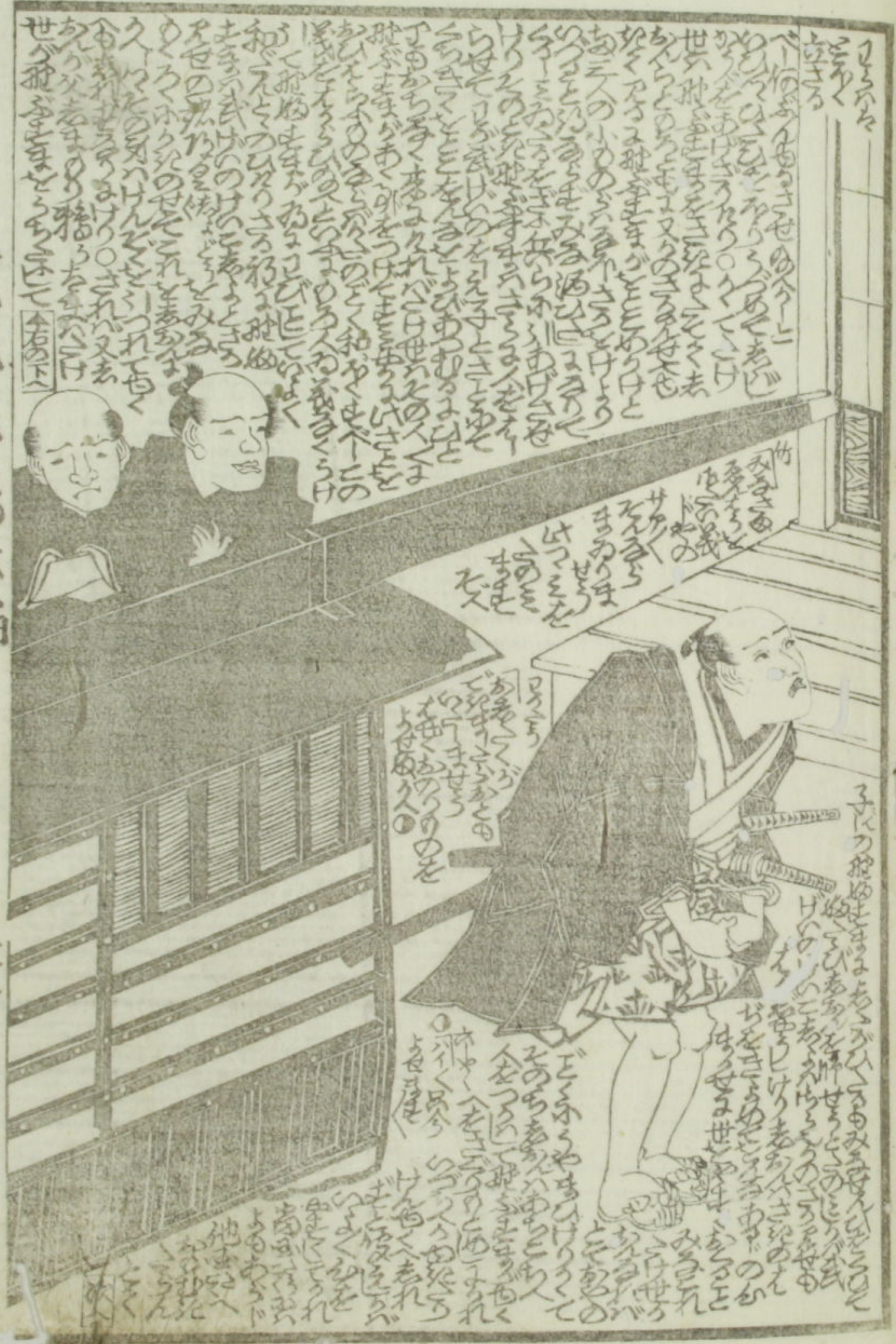
歌川國安画

奸計勇婦を陥る  
寒風簀系が夕  
夜の絃誦遊宴

己丑新鐫書肆仙鶴堂

直木正目が風  
柳の不爭諷諫





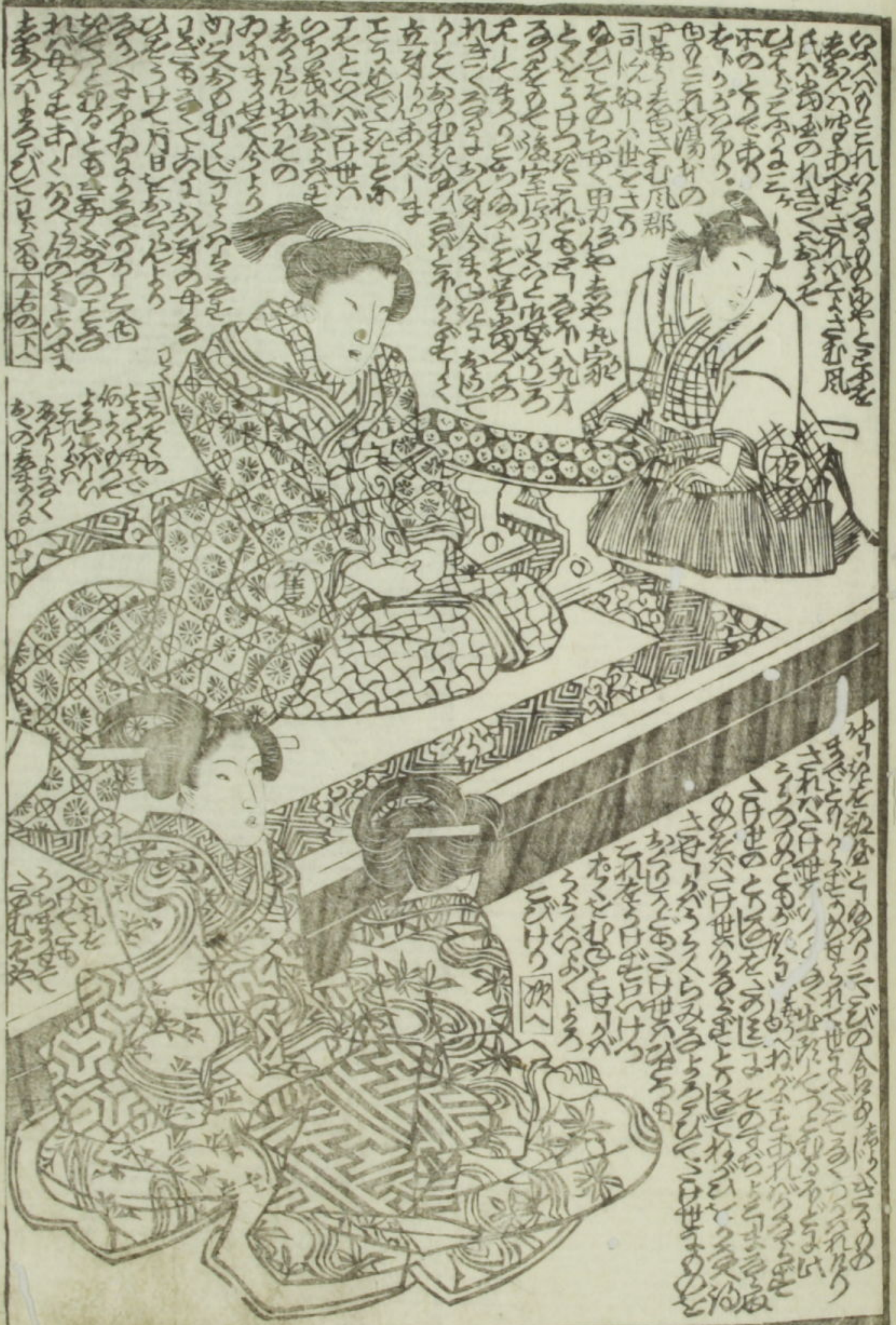
ナカシカニイロノハニ冊

七二



ナカシカニイロノハニ冊

七二







ナチカ...



七五

七五



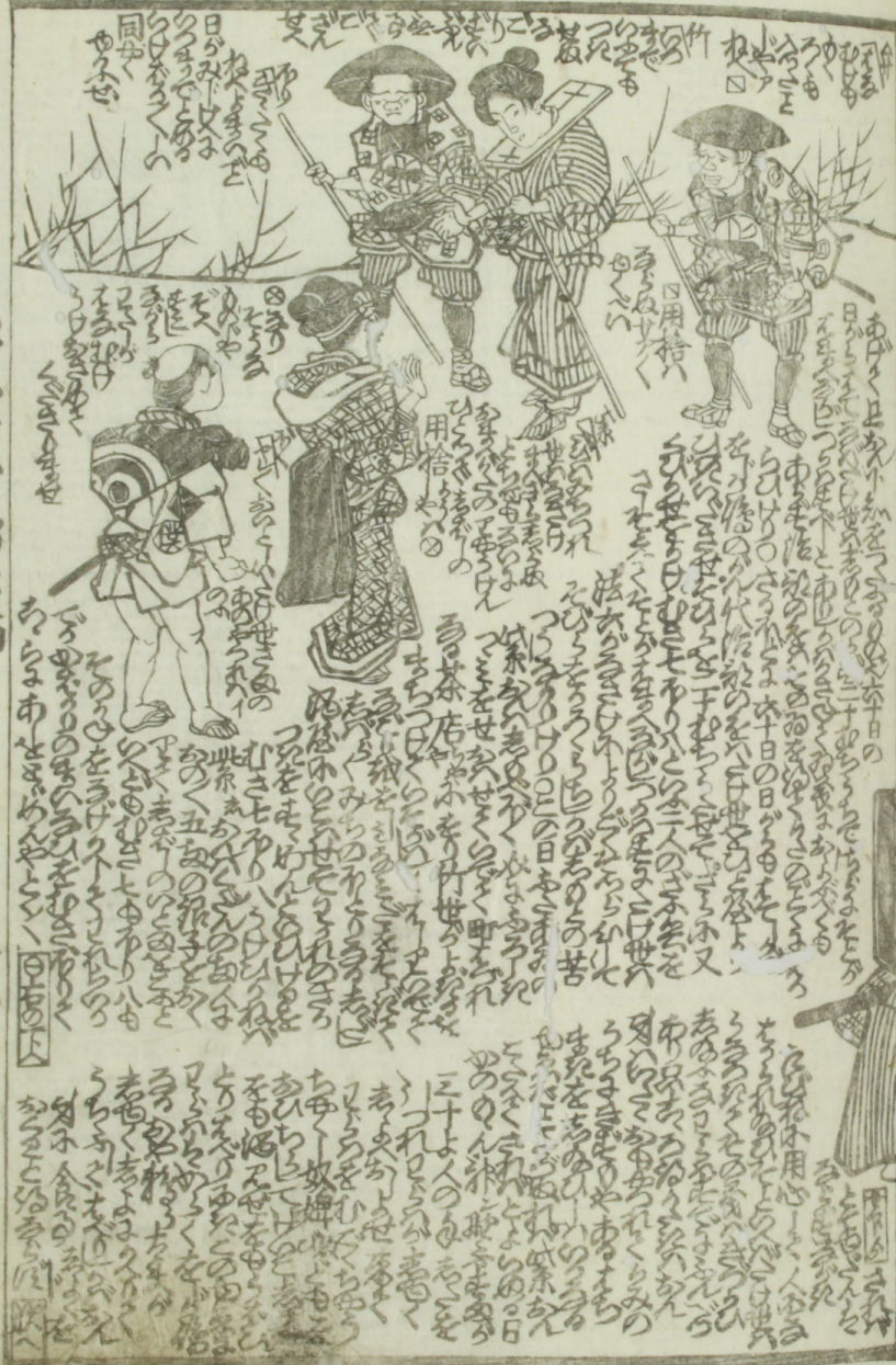
七五

七五









五七の世の物語

九八



ナカハシノミヤノ

この世の  
あまのこ  
さけてあ  
とちのあ  
勇者のあ  
あかへ

竹  
この  
あまの  
この  
あまの  
あまの

地  
この  
あまの  
あまの  
あまの

あまの  
あまの  
あまの  
あまの  
あまの

あまの  
あまの  
あまの  
あまの  
あまの



ナカハシノミヤノ

この世の  
あまのこ  
さけてあ  
とちのあ  
勇者のあ  
あかへ

竹  
この  
あまの  
この  
あまの  
あまの

地  
この  
あまの  
あまの  
あまの

あまの  
あまの  
あまの  
あまの  
あまの

あまの  
あまの  
あまの  
あまの  
あまの

傾城水滸傳

初編五編迄先達者賣金三郎の曲亭馬琴作  
六編七編編子年秋賣出の歌川國安画

繪本漢楚軍談

初編五編迄通俗漢楚軍談を由松方に  
共二十冊出来傳ふるも海軍書を

當世役者水滸傳

歌川國貞画  
漢道名人の著元を家傑  
水滸傳なるをておも

稗史水滸傳

初編六編迄山東京山譯  
共二十二冊賣出の歌川國芳画

水滸傳豪傑雙六歌川國芳画

奉書二枚の彩色すり  
画面には落く真のや

水滸傳劇場雛形

初編鶴屋南北作  
四冊歌川國貞画

忠臣水滸傳

繪入十冊忠臣の義士を家傑  
水滸傳なるをておも





曲亭馬琴著

傾城水滸  
傳第六編

歌川國安画  
下帙卷之下

傾城水滸傳第六編



國安画

山直家林賊の能莫庵の不動尊の真言も空多積悪の天網  
 戒刀學券祭も折をぬる所  
 一朝の之舊怨を報ひ  
 孤女菅薦の柔弱村の復花

傾城本澁傳第六編四  
 版喜鶴

馬琴作

奸夫淫婦の鴛鴦樓の阿曾沼の詠歌の恥を邪慳の劍羽  
 水刃相鋸の目覚し死  
 勇婦竹世二節截の潛態  
 單身の之衆敵を拵り



Handwritten Japanese text in vertical columns, surrounding the illustration on the right page.



Handwritten Japanese text in vertical columns, surrounding the illustration on the left page.



Vertical text on the left margin of the left page.







ナカシヤウシロノ...



ナカシヤウシロノ...

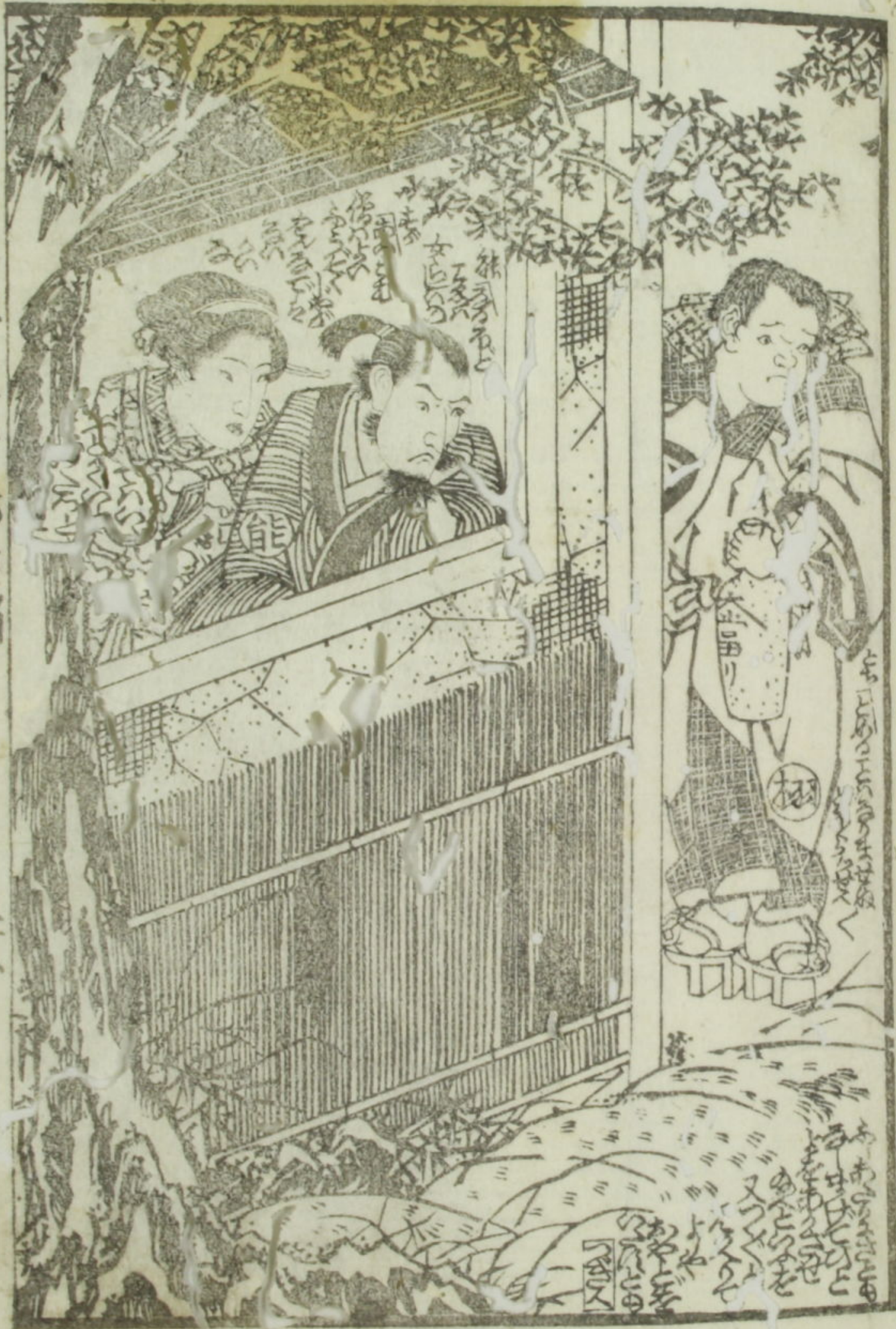
金剛山... 五月... 竹...



多... 竹... 五月... 竹...







ナハノチノヒノイハノイナノト無

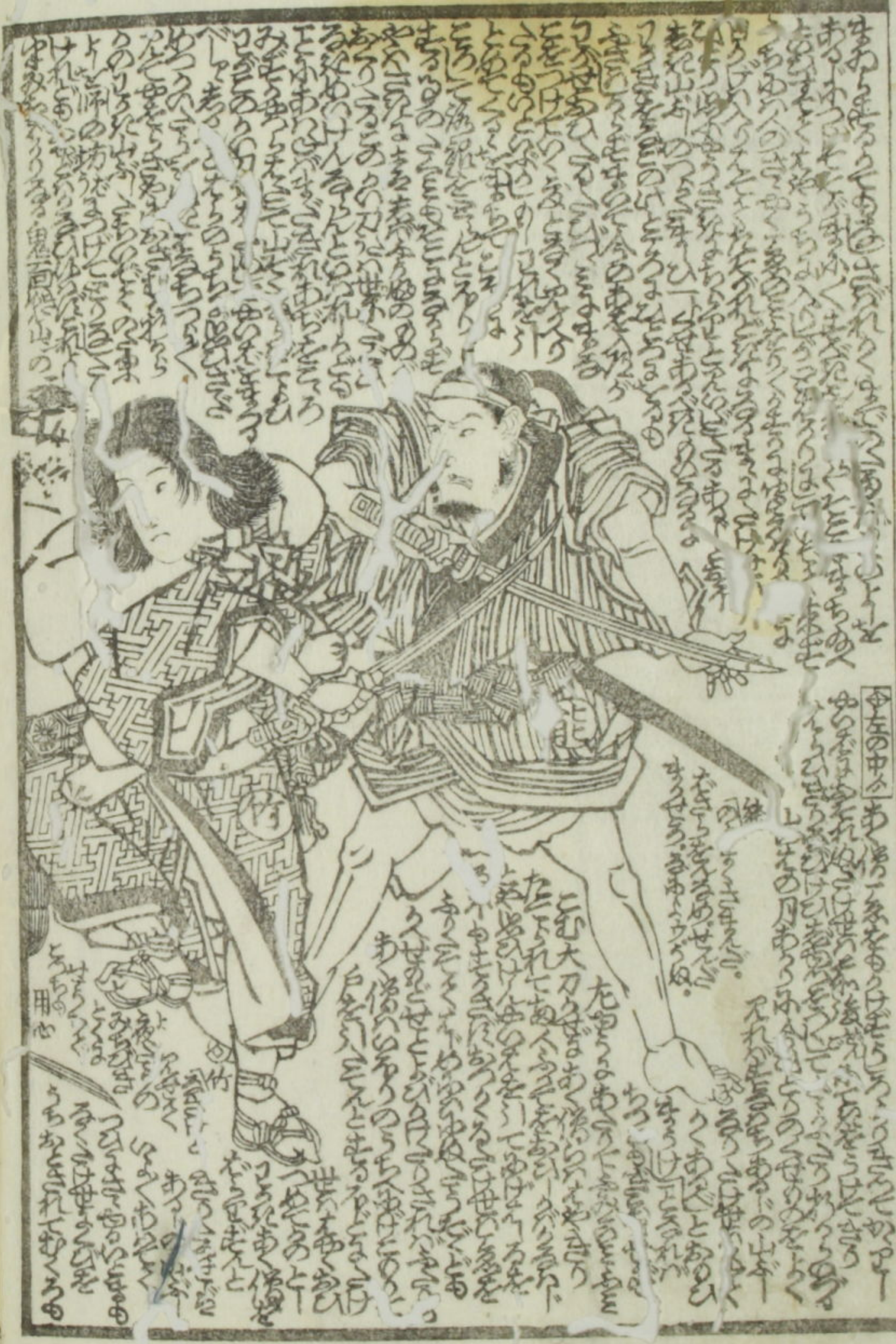
廿一



ナハノチノヒノイハノイナノト無

廿一

ナチク、ウチノカシ



Handwritten text on the right edge of the page, partially obscured by the binding.



魚琴作

# 魚琴作



## 國安画

### 卸免江戸曆開板所

### 載陽

村南山禪師書

四季和文

新撰日本所繪唐紙摺一收 蕙齋鋏形 絳真筆

新撰女古式揃生作 西品出来 高井蘭山編撰

還塊紙 柳車種彦造

田喜菴輯 若の

隨筆 女同放言 初編二編共三編

右才三編三冊 女同放言 初編二編共三編 第三編 近刻

三歌林水校輯  
芳艸集 全三冊

林取上蘭集全冊

遊言画手本 一名鳥羽繪早中び出来

廣光画懷中早刺大全

新形漆彩目

芝居似藤早指古

文吉自笑

藝品

百籤

倭紫田舎原氏 全八冊

柳亭種彦作

喜娘

蘭 靈應丹

油屋

没者夏の富士

鎌倉山百人一首

花の都路

立春 廓薰

隅田川兩岸一覽

三國

江戸名所東鑑

美艷仙女香

江戸名所物見

黒油美玄香

鶴屋喜右衛門版

此書は... 芳艸集... 林取上蘭集... 遊言画手本... 廣光画懷中早刺大全... 新形漆彩目... 芝居似藤早指古... 文吉自笑... 藝品... 百籤... 倭紫田舎原氏... 柳亭種彦作... 蘭... 靈應丹... 没者夏の富士... 花の都路... 隅田川兩岸一覽... 江戸名所東鑑... 江戸名所物見... 鶴屋喜右衛門版

錦繪團圓書林地紙問屋

